

泳力を向上させるための各校の取組

～体育経営部作成～

令和5年度の泳力調査の結果をもとに、全体的に数値が高かった学校に、どのように水泳運動に学校として取り組んでいるのか調査をしました。各校で効果的な取り組みをされていることが分かりましたので、報告します。

磐田地区

富士見小学校

○学年合同体育の実施

→若手のクラスもベテランのクラスも等質の指導ができた。

○学年水泳大会（6年生）

・水泳の目標をもつために子供たちに声を掛け、大会を企画した。

- ①全員リレー
- ②選択種目の競泳
- ③宝石拾い



○ベテラン教師による水泳講習会

・指導のポイントや単元計画の立て方のアドバイスをもらう。

（毎時間回泳チェックをする。4年生は平泳ぎから指導をする。等）

田原小学校

○スイミングスクールのコーチの招聘

・スイミングスクールのコーチに直接児童へ指導をしてもらった。

→専門的指導で、子供は水遊びが好きになり、教師は指導方法を知ることができた。

○水遊びの例

・手を輪っかでブクブクパッ！



・耳、おでこをぺったんこ等

袋井・森地区

袋井地区では、風見の丘のプールでインストラクターがついて授業を行った3校に聞きました。

高南小学校

○教員の高い意識

教員が100%の達成率を目指す。

○実態に合ったコース分け指導

- ・子どもたちの実態を把握する。
- ・コースごとにインストラクターから苦手な部分に特化した専門的指導を受けた。



○情報共有

体育主任が6学年分の全時間の単元の流れを作り、インストラクターと打合せを行った。

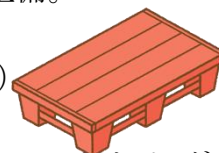
浅羽北・浅羽南小

T1：教師 T2：インストラクター

主にインストラクターには泳ぎ方のアドバイスをもらった。

○有効であった手立て

- ・学校ではできない環境整備。
（水への恐怖心をなくすために水深を浅くする。）



・授業時間を3時間確保していたため、泳ぐ時間が1時間半～2時間弱取れた。

○水泳授業を楽しみにしている子供が増えた。

※詳細は各校の体育主任に確認をしてみてください。